

玄関用収納 コンポリア

ベリテイス	
商品	P.966~1001
Uオーダー	P.994・998
Uオーダー発注書	P.996・1000

施工のポイント(単位:mm)

※玄関用収納コンポリアは壁面へのねじ固定(4本又は6本/ユニット)が必要です。

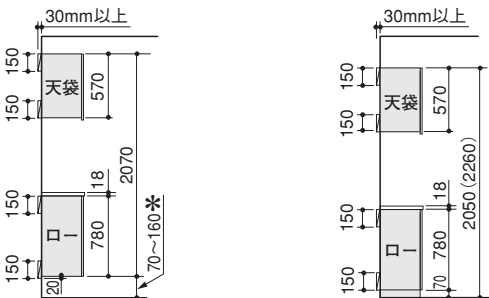
壁面に桟を取り付ける方法

■壁面に固定用木桟を図の高さに取り付ける。

※推奨木桟:30×150mm以上

〈吊り施工の場合〉…ランナーが必要です

〈据え置き施工の場合〉…台輪が必要です



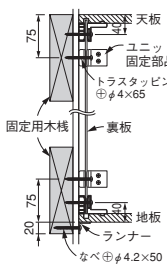
*は参考寸法です。カウンター高さを配慮して設置高さを決めてください。

注意

ユニット固定部品を用いて壁面固定をします。
固定用木桟の取り付け位置は必ず守ってください。

Uオーダー仕様の場合

ユニット固定部品による取り付けねじの位置が
ユニットの天板・地板から75mmの位置になるため、
その位置で固定用木桟を使って取り付け
てください。

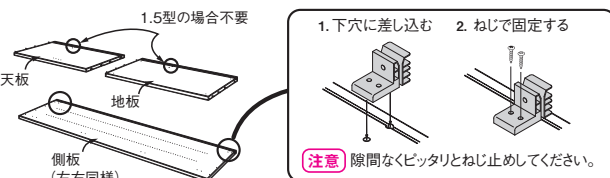


組み立て方 ※図はトルの場合

注意 天袋ユニットは組み立て時の上下に十分注意してください。

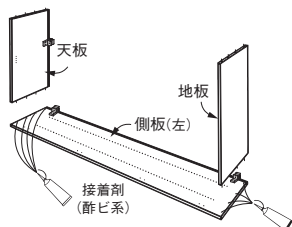
1. ユニット固定部品の取り付け

天板・地板・側板に付属のユニット固定部品を取り付ける。



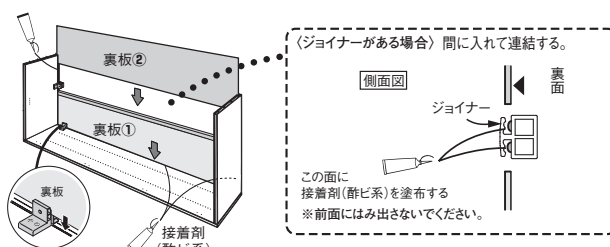
2. 天板・地板・側板(左)の組み立て

ダボ穴に付属の接着剤を塗布し、
組み立てる。



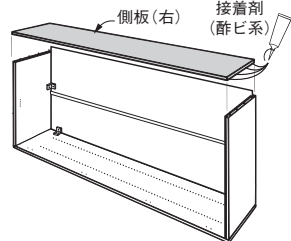
3. 裏板の差し込み

天板・地板・側板の溝に付属の接着剤を塗布し、裏板を固定部品・溝に差し込む。



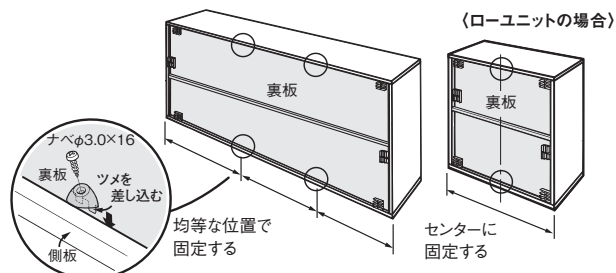
4. 側板(右)の取り付け

側板のダボ穴・溝に付属の接着剤を
塗布し、取り付ける。



5. 裏板の固定

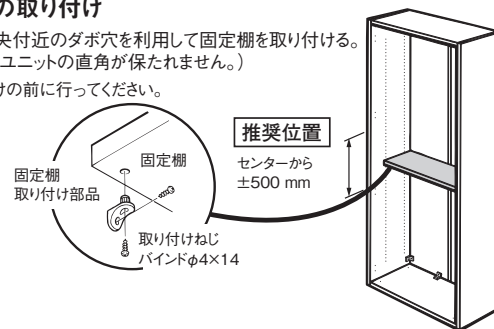
裏板取り付け部品のツメを裏板と側板の溝に差し込み、ねじ止める。



6. 固定棚の取り付け

ユニット中央付近のダボ穴を利用して固定棚を取り付ける。
(施工時にユニットの直角が保たれません。)

※据え付けの前に行ってください。



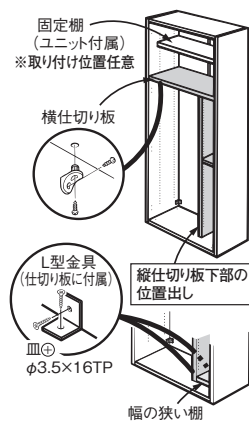
傘・コート収納用仕切り板(別品番)を取り付ける場合

1. 縦・横仕切り板をT型にダボ
組みする。

2. 取り付け部で横仕切り板
をユニットに固定する。

3. 幅の狭い棚を使って、
縦仕切り板下部を位置
出し、L型金具で固定する。
(前後2か所)

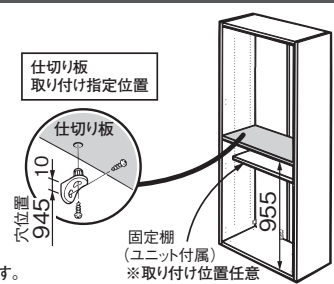
4. 幅の狭い棚とユニット
付属の固定棚を取り
付け部で固定する。



※仕切り板がある場合、固定棚の取り付け位置は任意です。

フラットタッチ扉用仕切り板(別品番)を取り付ける場合

取付部で、仕切り板を下記の
指定位置に取り付ける。



※仕切り板がある場合、
固定棚の取り付け位置は任意です。

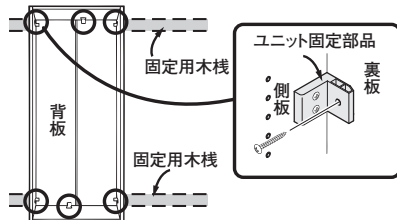
施工のポイント(単位:mm)

据え付けの注意

⚠注意

❗ ユニットの壁面固定は、必ずユニット固定部品の位置で行ってください。
必ず守る 背板に芯材がないため、その他の場所で固定すると、転倒・落下のおそれがあります。

- 指定位置に固定用木枠があることを確認してください。



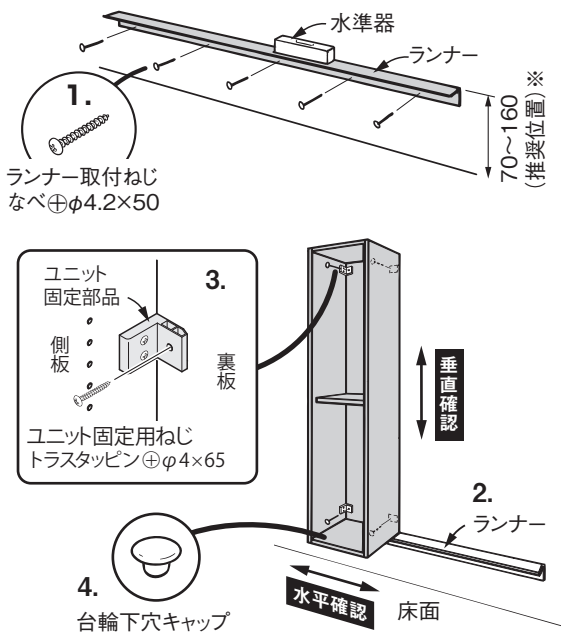
据え付け・吊り施工

ランナーを取り付け、壁面固定のみで取り付けます。

■ランナー(壁面L金具)の取り付け

ランナーの水平を確認しながら、指定のねじで壁面に固定する。

※ランナー取り付け位置は施工現場対応です。据え付け後のユニット上のカウンター高さに配慮して決めてください。

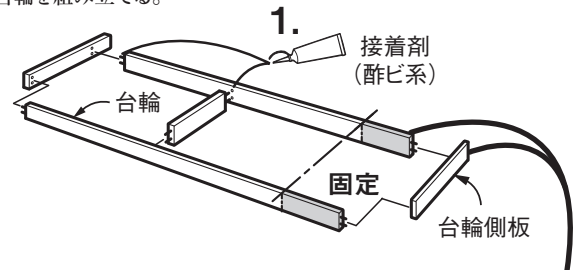


据え付け・据え置き施工

壁面固定と台輪固定で取り付けます。

■台輪の組み立て

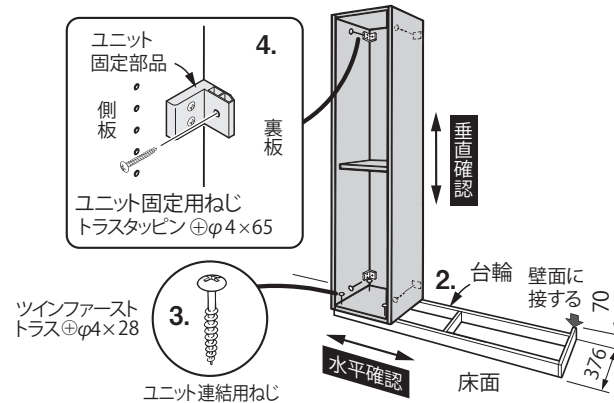
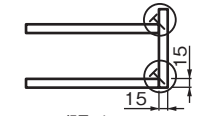
ダボ穴に接着剤を塗布し、台輪を組み立てる。



台輪をカットする場合

- ①ユニット幅から15mm(台輪側板の厚み分)ひいた長さに台輪の幅をカットする。
- ②カットした面を釘・タッカーなどで固定する。

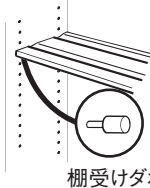
※カットした場合は、面にダボがなくなりますので、釘・タッカーなどで固定してください。(現場調達)



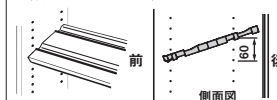
棚板について

可動棚(樹脂棚)

棚板(または仕切り板)のダボ穴に棚受けダボを差し込んで可動棚をのせる。

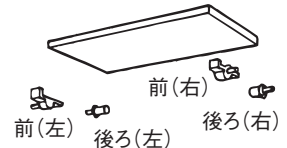


※後ろのダボをずらして、斜めに設置することもできます。(約60mmずらせます)

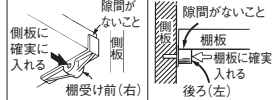


可動棚(木製)

L型棚受けダボを前側、丸型棚受けダボを後ろ側に取り付け、棚板をのせる。



※後ろのダボをずらして、斜めに設置することもできます。(約60mmずらせます)



玄関用収納 コンポリア

ベリテイス
商品 P.966~1001
⑩オーダー P.994・998
⑩オーダー発注書 P.996・1000

新商品

内装ドア

開き戸・
引戸

折れ戸

戸横ドア・
戸横引戸

幅広
上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用
建具

折れ戸

3枚連動
引戸

開き扉

収納用
内部パーツ

玄関用
収納

クロー
ボックス

エントランス
パーツ

コンポリア

造作部材・
腰壁部材

スリット格子

窓枠セット
ジャストカット
オーダー

インテリア
カウンター

階段・
手すり

防音建材

室内物干し
ユニット

床下収納
ユニット

点検口

はしご
ユニット

補修用
部材

施工のポイント(単位:mm)

扉の取り付け

ナチュラルカラー

■取っ手穴貫通・半貫通

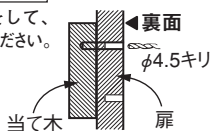
下記は、左右兼用扉のため、取っ手穴が半貫通となっています。
勝手を確定後、使用する位置に対してのみ貫通加工を行い、
取っ手を取り付けてください。

- 1.5型取っ手あり天袋用扉(フラット扉)
- 1.5型取っ手ありローユニット用扉(フラット扉)

注意 誤った穴を貫通すると扉が使用できなくなります。

取っ手穴貫通のしかた

※扉表面に当て木をして、
バリ発生を防いでください。



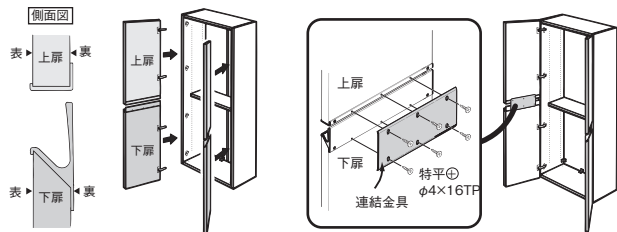
使わない扉の下穴に、穴隠し
キャップを取り付けてください。



■トールライン取っ手扉

- 注意** ●上下の扉は、必ず連結して使用してください。
連結しないと、扉がユニットに当たり、傷が付くおそれがあります。
●連結金具は、上下の扉を吊り込んだ後、取り付けてください。
吊り込む前に連結すると、扉が破損するおそれがあります。

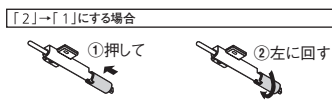
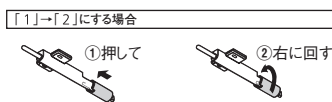
1. 上扉・下扉をユニットに各々取り付け。
※上扉、下扉の形状が違いますので
ご注意ください。
2. 扉の目地を調整する。
3. 上下の扉を連結金具で連結する。
(扉裏面に下穴があいています。)



■フラットタッチ扉

注意 フラットタッチ扉用仕切り板が必ず指定位置に取り付けられていることを確認してください。

1. タッチラッチ(別品番)を調整する。
※取り付け前に必ず調整してください。
●ローユニットの場合…「1」を選ぶ
※出荷時の状態です。
●トールユニットの場合…「2」を選ぶ
2. 仕切り板、またはローユニットの天板に、
ねじでタッチラッチを取り付ける。
3. 扉の下穴に、扉裏部品を取り付ける。
※必ず突起を横方向に
取り付け。(長穴をたて向きにする)
4. <左右兼用扉の場合のみ>使わない扉の
下穴に、穴隠しキャップを取り付ける。

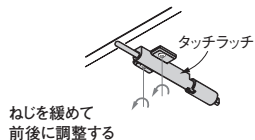


注意 左右兼用扉の場合、下穴が2つ
ありますので、間違えないよう
ご注意ください。
(下穴を間違えると、扉裏部品と棚板
が干渉し、扉の開閉ができなくなる
おそれがあります。)

動作確認

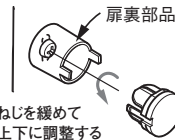
- 2~3回開閉し、タッチラッチの「閉⇄開」動作がスムーズに働くかを確認してください。
扉が開状態にならない場合は、タッチラッチの取り付けねじを緩めて、前後に調整してください。

タッチラッチの調整



ねじを緩めて
前後に調整する

上下位置調整

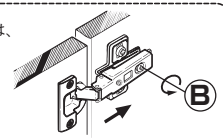


ねじを緩めて
上下に調整する

※タッチラッチの調整で扉が開状態にならない場合は、
下記のように蝶番を調整してください。

蝶番の調整

- ③を緩めて蝶番本体部を後に移動させる。
- ※調整後、必ずしっかりと締めてください。



扉の取り付け

ペイントカラー

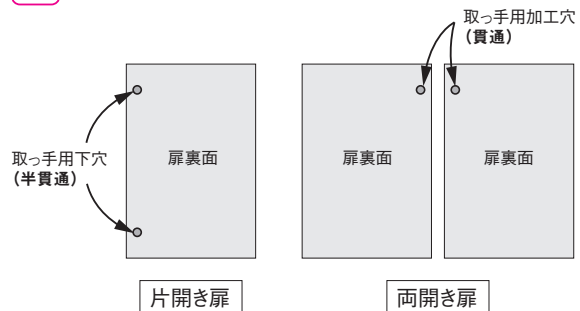
■取っ手穴加工

※取っ手穴加工の詳細は、説明書セットに付属の施工治具を参照してください。

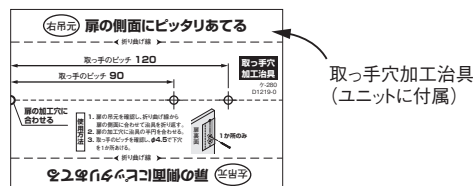
取っ手穴貫通・半貫通について

本製品の片開き扉は半貫通の取っ手穴が2か所、
両開き扉は貫通の取っ手穴が1か所加工されています。
扉の勝手を確定後、使用する位置に対してのみ貫通加工を行い、
取っ手を取り付けてください。

注意 誤った穴を貫通すると扉が使用できなくなります。



1. 扉の吊元を確認し、扉の加工穴に取っ手穴加工治具の半円を合わせる。

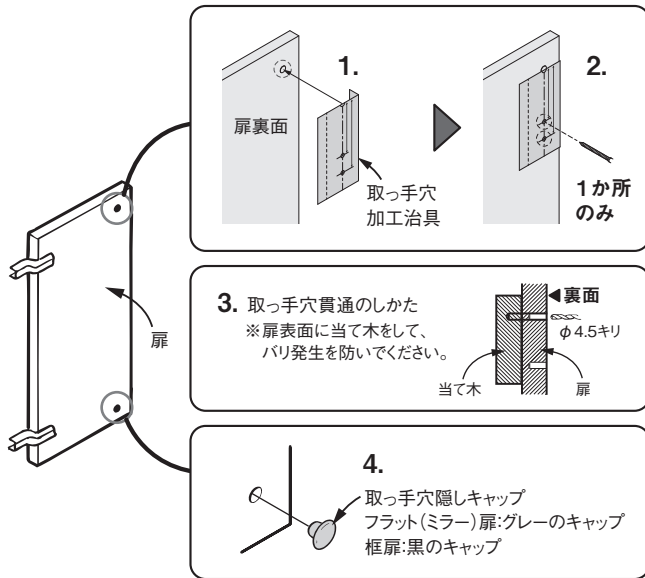


2. 取っ手のピッチ(90mmもしくは120mm)を確認し、
φ4.5で下穴を1か所あける。
※つまみ取っ手の場合は不要です。

3. 半貫通穴を貫通させる。

施工のポイント(単位:mm)

4. 使わない扉の下穴に、取っ手穴隠しキャップを取り付ける。

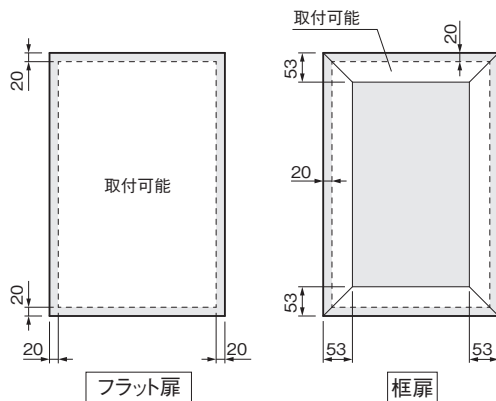


市販の取っ手を取り付ける場合

取っ手は下記の位置(□部)に取り付け可能です。
※扉端から20mmの位置および框部以外には取り付けできません。

手配した取っ手のねじ径に合わせて下穴をあけ、取っ手を取り付けてください。

注意 扉裏面よりねじが飛び出さないように、
扉の厚み(18mm)に適したねじを現場手配してください。



扉の調整

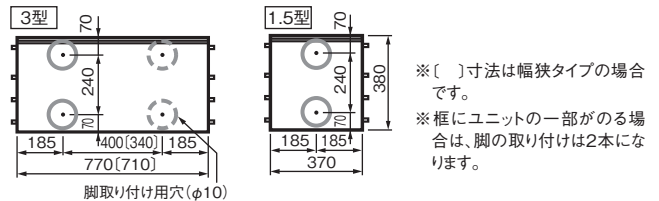
■扉の調整

扉の状態	調整方法
例1	①(A)を緩めると扉が矢印の方向に動く。
例2	②(B)を緩めて蝶番本体部を前後に移動させる。 ※調整後、必ずしっかり締めてください。
例3	①扉1枚のすべての(C)を緩める。 ②扉を上下に動かして高さを合わせる。 ③すべての(C)を締め直す。
注意 扉の調整後必ず2~3回開閉し、扉が確実に閉まっていることを確認してください。 ミラー扉が壁際に接するプランの際、(A)の調整にて壁際より離してください。	

脚を取り付ける場合

ナチュラルカラー

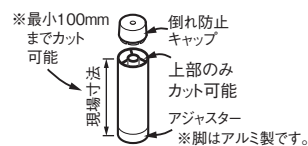
1. 地板に下穴をあける ※下記は参考寸法です。任意の位置に穴加工できます。



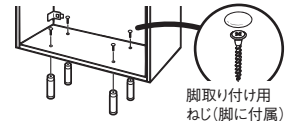
2. 脚を取り付ける ※脚は別途手配してください。(商品には付属されていません。)

■アルミ製脚の場合

① 脚の長さを設置寸法に合わせてカットする。

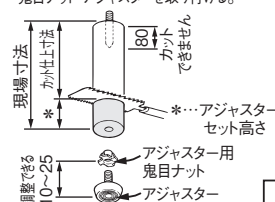


② ユニットに脚を取り付ける。

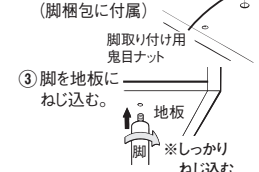


■木製脚の場合

① 脚は現場に合わせて切断し、アジャスター用
鬼目ナット・アジャスターを取り付ける。



② 地板の下穴に脚取り付け用
鬼目ナットを打ち込む。
(脚梱包に付属)



⚠ 注意

必ず守る 脚は最後までしっかりとねじ込む。
転倒し、けがをするおそれがあります。